

事業者における自己評価結果（公表）

公表：令和7年3月31日

事業所名 放課後等デイサービスのんびり学園

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	4	0	・ワーク室を別室として使用している。 ・利用定員に対して、十分なスペースを確保しています。	パーティション等を利用して、障害特性に配慮した個別スペースの確保に努めています。
	②	職員の配置数は適切である	3	5	0	基準に従って配置しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4	3	設備等だけで無く職員の相互協力によって出来ている。	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	4	0	勤務職員や非常勤職員一緒に会議を持つ事で共通認識は図れるようにしている。	日案や終礼の内容を見直し、効率的かつ確実に情報伝達が行われるように書類を整備し工夫しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	0	個別モニタリングやアンケート結果を鑑み、出来るところから改善を図っています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2	1	・ホームページにて公開している	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	4		今後は、第三者評価を検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	3	0	・ASDの方の支援に関して、すべての職員に支援方法を指導している。 ・また、外部研修に参加している。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	0	・モニタリングにおいて保護者へのニーズを聞き取りケース検討会で意見を出し合つたうえで計画を作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	4	1	利用者モニタリングの際は国が示したアセスメント用紙を利用している。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	3	1		
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	3	0	地域交流イベントや季節などを取り入れて活動が固定化しないようにしています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	3	0	・平日や休日、長期休暇等では別々のプログラムを準備して支援を行っている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6	2	0		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	0	・朝礼を行ったりボードを活用して役割分担をしている。 ・朝礼で役割分担や注意事項を確認したうえで支援に当たっている。 ・掲示板を用意して役割が一目でわかるようにしている。	

	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	0	・終礼を行いつの日の振り返りを共有している。 ・その日の反省点や注意事項等を終礼にて共有し翌日からの支援に備えている。	伝達ミスをなくすため伝達項目を抽出して、周知させています。
関係機関や保護者との連携	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	2	0	・支援終了後、必ず記録を取り月単位でまとめて支援改善に努めている。	月まとめのケース記録を作成しています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	0	・年二回、モニタリングを実施しており、計画の見直しを行っている。	保護者との意見交換を参考にして、本人にとって意味のある計画が立案できるように計画立案のスキルアップを図ります。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4	4	0	ガイドラインを読み込み、ガイドに沿った支援を行っています。	
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2	0	・児発管又状況によって最も状況に詳しいケース担当等が参画している。	
関係機関や保護者との連携	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	1	0	行事や下校時刻の確認または、利用者の学校での過ごし方などについて情報共有を図っています。	
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	7	0	医療的ケアが必要な人は必ず医師の指示書を確認し支援にあたります。	
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	3	0	・新1年生受け入れの際は、児童発達支援事業所等へ様子を見学に行き、情報共有に努めている。	
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	3	0	携わっていない為、不明	卒業生の情報を積極的にこちらから、障害福祉サービス事業所へ提供を行っていません。要請があれば、保護者の了承を得て情報伝達を行いたいと思います。
関係機関や保護者との連携	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	1	・携わっていない為、不明 ・ASD支援の勉強会や研修に積極的に参加し、助言を受けている。	
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	2	4	地域の市民センターへ出かける機会はあるが、交流までは慣れていない。	
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	5	1		今後は、自立支援協議会への参加を積極的に行っていきたいと考えています。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	0	・日頃のお子さんの状況を連絡帳にてその都度伝え、課題等を共有している。	
運営	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	5	2		
	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	2	0	・契約時、また変更がある場合はその都度伝えている。	保護者へより分かりやすくご説明できるように、説明する側が理解を深める必要があるかと考えています。

	(31) 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	0	・保護者から相談があった際面談を行い助言を行っている。 ・今後子育てに関し助言を出来る様知識を蓄える必要がある。
保護者への説明責任等	(32) 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	4	
	(33) 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	2	0	・迅速に面談にて対応している。 ・苦情受付担当者へすぐに報告し対応している。
	(34) 定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	0	・3か月に1度のんびりnetの発行を行っている。 ・又、フェイスブックにて活動の様子を随時発信している。 今年度は会報誌を作成し情報発信しています。
	(35) 個人情報に十分注意している	6	2	0	・USB等の個人情報を持ち出しせず、会社に置いている。 ・個人を特定出来る様な情報等は持ち出しあないよう気を付けている。又、不必要な場合は即シレッターにて処分している。 個人情報を破棄する際は、シレッターを使用する。個人情報は公に見れないように工夫する。 施設で使用するパソコンにはサイバー攻撃に対するセキュリティシステムを導入して対応している。
	(36) 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0	・言葉の使い方や伝え方等誤解のない様な表現となるよう細心の注意を払って保護者等対応するよう心掛けている。 ・連絡ノートや送迎時等で意思の疎通等を行っている。
	(37) 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	2	0	・1年に1度事業所のフェスタを開催している。地域の方に来て頂いている。
	(38) 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	4	0	・入職して間もないため、分からない ・マニュアル作成している ・マニュアルの策定は行っているが、保護者への周知が十分になされていない。 ・職員会議の議題として取り上げている。 マニュアルは整備されていますが、内容把握、理解、保護者・職員への情報共有が不完全であるため、今後はマニュアル活用を推進していきたいと思います。
非常時等の対応	(39) 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	3	0	・各災害を想定した避難訓練を定期的に行っている 消防署にも来所をお願いして消防訓練、避難訓練を実施していきたいと思います
	(40) 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	0	・虐待防止委員会により、定期的に研修を行っている。 ・職員会議の議題として取り上げている。
	(41) どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	5	0	
	(42) 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	5	1	
	(43) ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	2	0	・事例等を作成し、共有 ヒヤリハット作成について は、作成がまちまちである。 作成の目安を周知する必要がある。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。